

# 咲き誇る花、空舞う野鳥 草原の道は「龍宮街道」

## 私と遺産

### 保存し後世に伝える

サロマ湖の開口部に通じる道路の舗装(78年)と栄浦大橋の架橋(88年)で、ワツカ原生花園を訪れるマイカーが急増した。所かまわず歩き回る観光客に草花は踏みつけられた。自動車のタイヤ跡が刻まれ、盗掘された。常呂町教委文化財係学芸員で郷土研究同好会事務局長の佐々木覚さん(54)は「楽園はひん死の状態に陥った」と話す。だから「車の乗り入れ禁止と、観賞を散策路からに限ったのは大英断でした」と、高く評価する。

佐々木さんは94年から自然保護監視員となった。徒歩で園内を回り、花の状態を見て日誌に記録した。

同好会は常呂町の歴史、自然、風土をテーマに「常呂文庫」を15回発刊した。「ワツカ・その自然」を執筆、編集した佐々木さんは「単なるガイドに終わらず、保存し後世に伝えることに力点を置いた」と話す。

## まちづくりと遺産

### 町の大きな誇り

#### ——常呂の「自然環境保全宣言」

かけがいのない大自然の営みを後世に伝